

## 概観

### 【政治・社会】

内務省幹部の逮捕等のスキャンダルを受けて、野党は5度目の内閣不信任決議案を提出したが否決された。ペトコフ内務大臣は、内外の強い批判を受け辞表を提出、国民議会議員の1人に戻った。首相は内閣改造を実施、諸改革遂行への現政府のコミットメントをあらためて強調した。

- \*内閣不信任決議案を否決
- \*ペトコフ内務大臣の辞職
- \*内閣改造

### 【経済】

- \*高止まりするインフレ率

## 政治・社会

### 1. 内政

#### ◆内閣不信任決議案の否決

▶11日、野党は「政権担当の組織犯罪との関わり」を理由に内閣不信任決議案を提出、SNMは連立与党の一員でありながら、同党議員全員が投票を棄権した。採決の結果、反対117、賛成82、棄権35で否決され、スタニシェフ政権発足（05年）以来5回目の不信任決議案の否決となった。

#### ◆ペトコフ内務大臣の辞任

▶13日、それまで何度も辞任はしないと表明してきていたペトコフ内務大臣がスタニシェフ首相に辞表を提出、受理された。  
▶辞任の理由について、同大臣は、信頼を裏切る行為はしていない、と組織犯罪との関わり等の疑惑について否定しつつも、内務省組織及び政府の強化のため決断したと述べた。  
▶同人は国民議会議員の身分に戻った。

#### ◆内閣改造

▶スタニシェフ首相は、組織犯罪・汚職の追放、

社会保障・医療分野の改革、EU資金の効率的吸収等、残された改革課題を果たすため、大幅な内閣改造を行うと発表、同首相の内閣改造案は22日与党間協議で承認された後、24日国民議会で採決された。

▶新閣僚メンバーは以下のとおり。

・副首相兼EU資金担当大臣 メグレナ・ブルグチエヴァ  
（新規設置ポスト、無任所大臣。関係各省が縦割りで行っていたEU資金の運用の調整・監督を行う）（BSP、駐独ブルガリア大使）

・内務大臣（交替） ミハイル・ミコフ  
（BSP、国民議会議員、院内総務）

・国防大臣（交替） ニコライ・ツォネフ  
（SNM、国防省社会活動庁長官）

・農業・食糧大臣（交替） ヴァレリ・ツヴェタノフ  
（MRF、プシュカロフ農業環境研究所主任研究員（教授））

・保健大臣（交替） エフゲニ・ジェレフ  
（BSP、在外ブルガリア人庁長官兼地域政策担当大統領顧問）

また30日には各省次官ポストの削減（13ポスト）が発表された。

▶なお、マクロ経済政策及び保健・医療改革を含む内閣施政方針についてはイースター連休（26－5月6日）明けに発表されることとなった。

## 2. 外政

### ◆パルヴァノフ大統領のエジプト訪問

（13－16日）

▶パルヴァノフ大統領はムバラク大統領等と会談、両大統領はアラブ・ガス・パイプラインを2011年までにブルガリアまで敷設できる見通しであると述べた。同パイプライン・プロジェクトにはヨルダン、シリア、レバノンも参加、これらアラブ諸国はブルガリアを通じて欧州へガス供給を行うナブッコ・ガスパイプライン計画へのガス供給源としてカスピ海周辺国と並び期待されている。

### ◆グランチャロヴァ欧州担当大臣コソボを訪問（24－25日）

▶グランチャロヴァ欧州担当大臣は、ブルガリ

## 経 済

### 1. マクロ経済

#### ◆経常収支赤字が拡大

ブルガリア中銀によれば、本年2月時点での経常収支赤字は12.92億ユーロ（対GDP比3.9%）であった。貿易赤字が拡大したことにより対前年比16%増となっており、IMF及びブルガリア政府はともに本年の経常収支赤字をGDP比22%と予測している（昨年21.6%）。昨年の外国直接投資額は61億ユーロであり、経常収支赤字額の105%にあたる。2月時点での外国直接投資額は4.322億ユーロとなっている（対GDP比1.3%）。

#### ◆高止まりするインフレ率

3月のインフレ率は14.2%（対前年同期比）であったと統計局が発表した。これは過去10年間で最も高い数字となっており、特に食品は約24%もの高い値となっている他、ガソリン、上水サービス、タクシー料金、バス料金、衣類等多くの分野で記録され

アのコソボ独立承認後、閣僚として初めてコソボを訪問、セイディユ大統領、サチ首相等と会談した。

## 3. 社会

### ◆ロマ族の教育問題

▶ヴィトコヴァ教育次官は、9日、ロマ族学童の学業放棄率が高いのは、同民族の置かれている社会的地位などの社会的要因にも原因があるとして、文化的多様性により配慮した教育環境創設のため5百万レヴァ（250万ユーロ）のプロジェクトを策定したと発表した。

▶ロマ族出身の学童の割合は全体で10%、低学年（4年生まで）では19.7%、高学年では2%。

▶01年の調査では37万人のロマ族のブルガリア在住が確認されているが、実際には少なくともその倍以上が在住していると推測されている。

ている。

#### ◆対外債務を大きく削減

2008年の第1四半期における政府対外債務は、予定された支払いに加え、世界銀行への支払いを前倒した結果2月と比べ3.55億ユーロ削減され、47.38億ユーロとなった。

#### ◆ユーロ導入は2014年

ブルガリアへのユーロ導入は早くても2014年、これはロイター通信社が29人のエコノミストに調査・予測させたもので、前回1月の調査では2013年と予測されていた。エストニア、リトアニアは2012年、チェコ、ラトビア、ポーランドは2013年、ブルガリア、ハンガリーは2014年、ルーマニアは2015年と予測されている。ブルガリアの導入時期が前回調査よりも遅く

なったのは高いインフレと貿易赤字によるものであると指摘している。

## 2. 外国投資

### ◆シュナイダー・エレクトリック社が 3500 万レヴァを投資

フランスのシュナイダー・エレクトリック社が今後 3 年間で 3500 万レヴァ以上の投資を行う。そのうち 1200 万レヴァはプロヴディフ近郊のラディノフ村での工場建設によるもの。本工場は昨年オープンしたもので自動スイッチを生産しているが、新たな投資により小型スイッチの生産を開始し、09年には生産能力を倍増する予定となっている。

### ◆シシエジャム社がガラス工場を増設

トルコのシシエジャム社が2010年に自動車用ガラスの生産工場を建設すると発表した。新たに4.15億米ドルの投資により本年から建設に着工する予定。シシエジャム社は2004年よりブルガリアへ進出し、これまでタルゴビシュテに3.8億米ドルを投資し、4棟の工場が現在稼働している。

=====

## ブルガリア政治・外交・社会動向

(平成20年4月)

在ブルガリア大使館

**8-9日** パルヴァノフ大統領、ポーランドを公式訪問。カチンスキ大統領、トゥスク首相等と会談。安全保障問題及び対ロシア外交について協議。

**8日** カビル農相、トルコを訪問。農業分野での両国協力関係の強化につき農相等と協議。

**6-12日** マスラロヴァ労働相、ベトナムを訪問。グエン・タン・ズン首相等と会談。労働・福祉・社会保障分野に於ける協力に関する覚書に署名。

**9日** ペトコフ内務省、国民議会内務委員会に対し内務省組織内部の問題点及び組織犯罪対策に関する報告書を提出。

**10-11日** ブルガリア空軍、米軍と共同演習（プロブディフ市近郊グラフ・イグナティエヴォ基地）。

**11日** 国民議会で内閣不信任決議案否決される。

**13日** ペトコフ内相辞任。首相、内閣改造を示唆。

**13-16日** パルヴァノフ大統領、エジプトを訪問。

**14-18日** ガイダルスキ保健大臣、キューバを訪問。保健分野における協力強化に関する覚書に署名。

**17日** 与党3党、内閣改造に関する協議開始。

**17-18日** メメディヤロフ・アゼルバイジャン外相、ブルガリアを訪問。パルヴァノフ大統領、スタニシェフ首相、カルフィン外相等と会談。

**22日** 内閣改造に関する与党党首協議が行われ、スタニシェフ首相の改造案が承認される。

**24日** 国民議会、内閣改造を承認、新閣僚が就任。

**30日** ソフィアにて南東欧司法・内務大臣会合開催される。

**30日** 政府、次官ポストの削減（13ポスト、約20%）を発表。

# ブルガリア経済指標(2008年4月)

